

グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・予想分配金提示型)

運用報告書（全体版）

第10期（決算日 2026年2月16日）第12期（決算日 2026年4月15日）第14期（決算日 2026年6月15日）
第11期（決算日 2026年3月16日）第13期（決算日 2026年5月15日）第15期（決算日 2026年7月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）」は、2026年7月15日に第15期の決算を行いましたので、第10期から第15期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2025年4月22日から2035年7月13日までです。	
運用方針	主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）	「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

<645139>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース)		株 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分	込 配	金 騰	落 中 率	(参考指数)		
(設定日)	円		円		%		%	百万円
2025年4月22日	10,000		—		—	100.00	—	60
1期(2025年5月15日)	11,471		200		16.7	121.42	21.4	68
2期(2025年6月16日)	11,253		200		△ 0.2	119.92	△ 1.2	67
3期(2025年7月15日)	11,641		200		5.2	128.14	6.8	69
4期(2025年8月15日)	11,733		300		3.4	135.56	5.8	70
5期(2025年9月16日)	11,672		200		1.2	138.41	2.1	70
6期(2025年10月15日)	11,801		300		3.7	142.44	2.9	70
7期(2025年11月17日)	11,763		300		2.2	143.70	0.9	70
8期(2025年12月15日)	11,659		300		1.7	151.83	5.7	69
9期(2026年1月15日)	12,032		300		5.8	159.14	4.8	72
10期(2026年2月16日)	11,997		300		2.2	163.98	3.0	71
11期(2026年3月16日)	11,099		200		△ 5.8	152.90	△ 6.8	66
12期(2026年4月15日)	11,731		200		7.5	163.47	6.9	70
13期(2026年5月15日)	12,617		400		11.0	185.95	13.8	75
14期(2026年6月15日)	12,293		300		△ 0.2	178.49	△ 4.0	74
15期(2026年7月15日)	11,926		300		△ 0.5	175.19	△ 1.8	72

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はVettaFiに帰属します。なお、設定時を100として2026年7月15日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース) (参考指数)		株 式 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率	
第10期	(期 首) 2026年 1 月15日	円 12,032	% —	159.14	% —	% 96.1
	1 月末	12,073	0.3	156.93	△ 1.4	92.6
	(期 末) 2026年 2 月16日	12,297	2.2	163.98	3.0	92.5
第11期	(期 首) 2026年 2 月16日	11,997	—	163.98	—	92.5
	2 月末	12,267	2.3	169.22	3.2	94.2
	(期 末) 2026年 3 月16日	11,299	△ 5.8	152.90	△ 6.8	96.4
第12期	(期 首) 2026年 3 月16日	11,099	—	152.90	—	96.4
	3 月末	10,372	△ 6.6	143.84	△ 5.9	94.3
	(期 末) 2026年 4 月15日	11,931	7.5	163.47	6.9	95.6
第13期	(期 首) 2026年 4 月15日	11,731	—	163.47	—	95.6
	4 月末	12,155	3.6	169.96	4.0	95.4
	(期 末) 2026年 5 月15日	13,017	11.0	185.95	13.8	94.7
第14期	(期 首) 2026年 5 月15日	12,617	—	185.95	—	94.7
	5 月末	12,827	1.7	190.33	2.4	93.2
	(期 末) 2026年 6 月15日	12,593	△ 0.2	178.49	△ 4.0	94.0
第15期	(期 首) 2026年 6 月15日	12,293	—	178.49	—	94.0
	6 月末	12,497	1.7	180.25	1.0	94.8
	(期 末) 2026年 7 月15日	12,226	△ 0.5	175.19	△ 1.8	94.6

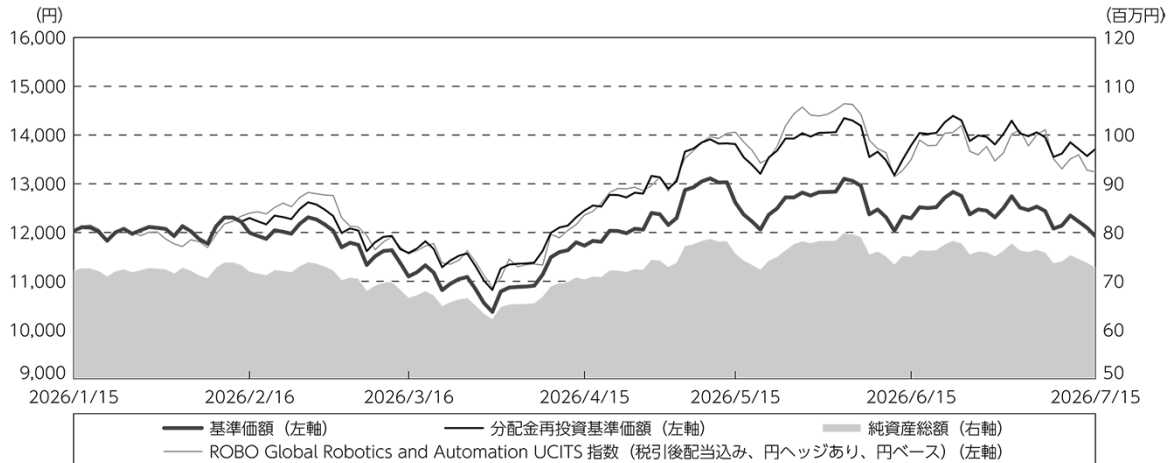
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2026年1月16日～2026年7月15日）

作成期間中の基準価額等の推移



- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額およびROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は、作成期首（2026年1月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・AI（人工知能）活用の進展、特にAIエージェント（ユーザーが設定した目標に対し自律的に計画を立て、実行するAIシステム）やフィジカルAI（現実世界での行動を知覚・理解・実行するロボットなど）の社会実装による生産性向上に市場の注目が集まるなか、半導体や半導体製造装置をはじめ、情報技術セクターが選好されたこと。

- ・米国とイラン間の和平交渉合意に向けた努力が継続したことで、中東情勢に対する投資家心理が改善したこと。

<値下がり要因>

- ・地政学リスクの高まりから、2026年3月に入り株式市場が全体的に下落したこと。
- ・AIの社会実装が進むなか、米国を中心にソフトウェア産業におけるAI代替への懸念が徐々に強まり、ソフトウェア関連企業のバリュエーション（価値評価）調整が起きたこと。

投資環境

（株式市況）

当期間は、AI関連分野における巨額設備投資に対する市場の懸念は引き続き残ったものの、AI関連半導体の需給逼迫を背景とした半導体産業の先行きに対する期待から、ロボティクス関連銘柄は概ね堅調に推移しました。

米国とイスラエルが2026年2月末にイランを攻撃したことで地政学リスクが急速に高まり、3月にかけて株式市場は全体的に大きく下落しました。しかし、その後はAIエージェントおよびフィジカルAIに対する強い期待感を背景に、半導体、半導体製造装置、データセンター関連設備などを手掛ける企業の株価は堅調に推移しました。一方、ソフトウェア業界では、AIによる業務自動化の進展を受けて既存の収益モデルへの懸念が高まり、株価調整を余儀なくされる銘柄も見られました。その後、米国で6月に発表された雇用統計が市場予想を上回ったことを受け、金融引き締めの長期化懸念が高まりました。期間末にかけては、中東情勢の緊迫化も重なり、ハイテク関連銘柄を中心にボラティリティ（変動性）の高い相場展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

ボトムアップアプローチを重視し、大きな変革期にあるロボティクス市場において高い成長が期待される企業に着目した運用を行ないました。

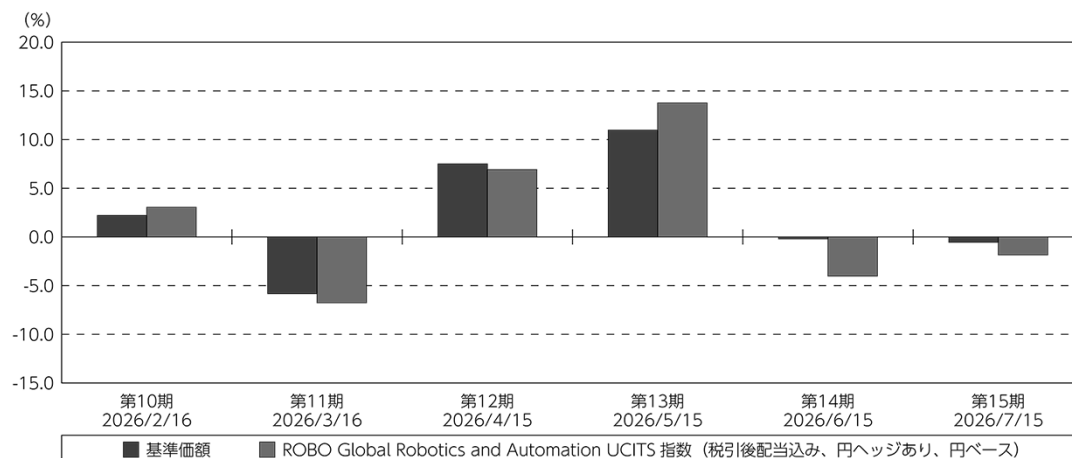
マクロ環境や地政学情勢の動向を注視しつつ、AIエージェントやフィジカルAIの進展に注目しました。特に、AIの社会実装が進展するなか、それを支える半導体やデータセンター関連の設備投資計画は上方修正されており、引き続き有望との見方を維持しました。

地政学リスクの高まりなど不透明な市場環境が続くなか、バリュエーションと企業の財務健全性を重視した投資判断を継続し、セクター別では、引き続き情報技術、資本財・サービスセクターの組入比率を高水準で維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
	2026年1月16日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年3月16日	2026年3月17日～ 2026年4月15日	2026年4月16日～ 2026年5月15日	2026年5月16日～ 2026年6月15日	2026年6月16日～ 2026年7月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	300 2.440%	200 1.770%	200 1.676%	400 3.073%	300 2.382%	300 2.454%
当期の収益	264	—	133	400	—	—
当期の収益以外	35	200	66	—	300	300
翌期繰越分配対象額	1,996	1,796	1,730	2,616	2,316	2,016

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

短期的には地政学情勢が市場変動要因になるとみられるものの、ＡＩエージェントやフィジカルＡＩの社会実装の進展によってもたらされる中長期的な社会構造の変化の方が、より重要と考えています。ＡＩ活用による生産性向上は、オフィスや研究所にとどまらず、工場や倉庫などの社会インフラ領域にも広がっていくとみています。今後、ＡＩ活用に必要な計算能力は年初時点の想定を大幅に上回ることが予想されており、データセンターやＡＩ半導体関連設備への巨額投資計画はさらに上方修正される可能性があります。また、フィジカルＡＩの社会実装においては、ハードウェアの生産能力がボトルネックとなる可能性にも注目しています。当戦略では、こうしたＡＩバリューチェーン（製品やサービスが顧客に提供される過程で付加価値が生み出される流れ）全体における企業価値の拡大に着目しています。

今後、一層のデータ活用、関税によるサプライチェーン（供給網）の見直し、賃金インフレなどは自動化・自律化の追い風となると考えます。加えて、製造業の国内回帰を掲げるトランプ政権の政策も、自動化投資を後押しする材料になると期待しています。こうした環境を踏まえると、ロボティクス関連銘柄の中長期的な投資魅力は引き続き高いとみています。引き続き、足元の株価変動は投資機会と捉え、バリュエーションを重視した運用を継続する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2026年 1 月16日～2026年 7 月15日）

項 目	第10期～第15期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 116	% 0.960	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(56)	(0.464)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(56)	(0.464)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.007	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.007)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.003	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.003)	
(d) そ の 他 費 用	12	0.096	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.046)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(6)	(0.047)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	129	1.066	
作成期間の平均基準価額は、12,031円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

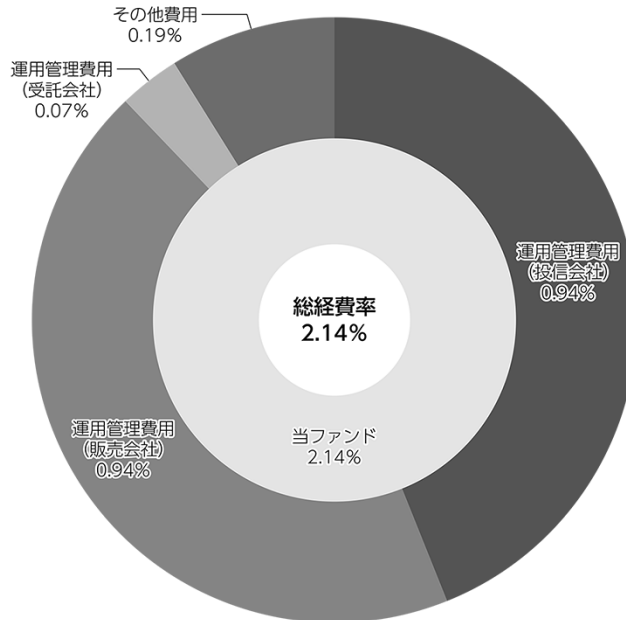
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年 1 月16日～2026年 7 月15日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第10期～第15期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	千口 346	千円 2,314	千口 2,216	千円 14,520

○株式売買比率

（2026年 1 月16日～2026年 7 月15日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第10期～第15期
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	491,532,930千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	1,356,184,369千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.36

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

（2026年 1 月16日～2026年 7 月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2026年 1 月16日～2026年 7 月15日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2026年 1 月16日～2026年 7 月15日)

当作成期首残高 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	当作成期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 60	百万円 —	百万円 —	百万円 60	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2026年 7 月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第 9 期 末	第15期末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	千口 11,756	千口 9,885	千円 71,821

(注) 親投資信託の2026年 7 月15日現在の受益権総口数は、223,842,454千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年 7 月15日現在)

項 目	第15期末	
	評 価 額	比 率
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	千円 71,821	% 95.7
コール・ローン等、その他	3,237	4.3
投資信託財産総額	75,058	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・ロボティクス株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（1,152,067,919千円）の投資信託財産総額（1,626,215,846千円）に対する比率は70.8%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=162.17円、1ユーロ=185.39円、1スイスフラン=200.53円、1スウェーデンクローナ=16.82円、1新台幣ドル=5.0349円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第10期末	第11期末	第12期末	第13期末	第14期末	第15期末
	2026年2月16日現在	2026年3月16日現在	2026年4月15日現在	2026年5月15日現在	2026年6月15日現在	2026年7月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	123,237,045	116,607,033	119,581,661	129,627,316	129,282,100	125,593,937
コール・ローン等	1,849,317	1,885,789	1,768,818	1,993,015	2,018,753	2,054,136
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド(厚償額)	69,505,896	67,178,658	69,365,888	73,725,822	74,210,285	71,821,768
未収入金	51,881,795	47,542,548	48,446,920	53,908,439	53,053,022	51,717,978
未収利息	37	38	35	40	40	55
(B) 負債	51,255,630	50,010,559	49,197,930	53,926,315	54,292,575	52,844,665
未払金	49,277,277	48,644,093	47,826,154	51,336,724	52,258,904	50,809,812
未払収益分配金	1,800,000	1,200,000	1,200,000	2,400,000	1,830,000	1,830,000
未払信託報酬	122,820	105,756	105,847	117,824	125,689	120,919
その他未払費用	55,533	60,710	65,929	71,767	77,982	83,934
(C) 純資産総額(A－B)	71,981,415	66,596,474	70,383,731	75,701,001	74,989,525	72,749,272
元本	60,000,000	60,000,000	60,000,000	60,000,000	61,000,000	61,000,000
次期繰越損益金	11,981,415	6,596,474	10,383,731	15,701,001	13,989,525	11,749,272
(D) 受益権総口数	60,000,000口	60,000,000口	60,000,000口	60,000,000口	61,000,000口	61,000,000口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,997円	11,099円	11,731円	12,617円	12,293円	11,926円

(注) 当ファンドの第10期首元本額は60,000,000円、第10～15期中追加設定元本額は1,000,000円、第10～15期中一部解約元本額は0円です。
(注) 1口当たり純資産額は、第10期1.1997円、第11期1.1099円、第12期1.1731円、第13期1.2617円、第14期1.2293円、第15期1.1926円です。

○損益の状況

項 目	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
	2026年1月16日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年3月16日	2026年3月17日～ 2026年4月15日	2026年4月16日～ 2026年5月15日	2026年5月16日～ 2026年6月15日	2026年6月16日～ 2026年7月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,113	965	980	1,029	1,237	1,517
受取利息	1,113	965	980	1,029	1,237	1,517
(B) 有価証券売買損益	1,720,695	△ 4,070,863	5,106,101	7,843,533	△ 18,828	△ 278,383
売買益	2,575,076	1,217,177	7,110,300	8,148,641	767,242	800,281
売買損	△ 854,381	△ 5,288,040	△ 2,004,199	△ 305,108	△ 786,070	△ 1,078,664
(C) 信託報酬等	△ 133,100	△ 115,043	△ 119,824	△ 127,292	△ 135,985	△ 133,387
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,588,708	△ 4,184,941	4,987,257	7,717,270	△ 153,576	△ 410,253
(E) 前期繰越損益金	12,192,707	11,981,415	6,596,474	10,383,731	15,701,001	13,717,425
(F) 追加信託差損益金	—	—	—	—	272,100	272,100
(配当等相当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(261,689)	(261,910)
(売買損益相当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(10,411)	(10,190)
(G) 計(D+E+F)	13,781,415	7,796,474	11,583,731	18,101,001	15,819,525	13,579,272
(H) 収益分配金	△ 1,800,000	△ 1,200,000	△ 1,200,000	△ 2,400,000	△ 1,830,000	△ 1,830,000
次期繰越損益金(G+H)	11,981,415	6,596,474	10,383,731	15,701,001	13,989,525	11,749,272
追加信託差損益金	—	—	—	—	272,100	272,100
(配当等相当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(261,910)	(261,910)
(売買損益相当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(10,190)	(10,190)
分配準備積立金	11,981,415	10,781,415	10,383,731	15,701,001	13,871,001	12,041,001
繰越損益金	—	△ 4,184,941	—	—	△ 153,576	△ 563,829

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2026年1月16日～2026年7月15日に当ファンドが負担した費用は98,416円です。

(注) 分配金の計算過程（2026年1月16日～2026年7月15日）は以下の通りです。

項 目	2026年1月16日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年3月16日	2026年3月17日～ 2026年4月15日	2026年4月16日～ 2026年5月15日	2026年5月16日～ 2026年6月15日	2026年6月16日～ 2026年7月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	45,651円	0円	116,507円	47,034円	0円	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	1,543,057円	0円	685,809円	7,670,236円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	0円	0円	0円	0円	261,910円	261,910円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	12,192,707円	11,981,415円	10,781,415円	10,383,731円	15,701,001円	13,871,001円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	13,781,415円	11,981,415円	11,583,731円	18,101,001円	15,962,911円	14,132,911円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	2,296円	1,996円	1,930円	3,016円	2,616円	2,316円
g. 分配金	1,800,000円	1,200,000円	1,200,000円	2,400,000円	1,830,000円	1,830,000円
h. 分配金(1万円当たり)	300円	200円	200円	400円	300円	300円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
1 万口当たり分配金（税込み）	300円	200円	200円	400円	300円	300円

○お知らせ

約款変更について

2026年1月16日から2026年7月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第8条、第22条、第23条、第29条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2025年7月22日）
（2024年7月23日～2025年7月22日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2015年8月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638110>

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率		
	円	%		%	%	百万円
6 期(2021年 7 月20日)	27,053	39.3	255.83	42.8	98.0	729,909
7 期(2022年 7 月20日)	27,195	0.5	242.71	△ 5.1	97.2	730,500
8 期(2023年 7 月20日)	36,253	33.3	315.29	29.9	97.6	790,763
9 期(2024年 7 月22日)	48,085	32.6	335.98	6.6	97.8	999,666
10期(2025年 7 月22日)	48,219	0.3	348.20	3.6	96.8	1,023,450

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース) は、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。日興アセットマネジメントが円換算しています。同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は VettaFiに帰属します。なお、設定時を100として2025年 7 月22日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2024年 7 月22日	円	%		%	%
	48,085	—	335.98	—	97.8
7 月末	45,462	△ 5.5	317.67	△ 5.4	98.0
8 月末	44,050	△ 8.4	303.38	△ 9.7	96.2
9 月末	44,370	△ 7.7	315.31	△ 6.2	97.1
10月末	46,842	△ 2.6	329.97	△ 1.8	97.2
11月末	45,941	△ 4.5	328.00	△ 2.4	98.1
12月末	47,876	△ 0.4	346.35	3.1	98.4
2025年 1 月末	47,965	△ 0.2	352.31	4.9	99.0
2 月末	44,254	△ 8.0	329.12	△ 2.0	96.4
3 月末	41,610	△13.5	302.14	△10.1	95.7
4 月末	39,288	△18.3	277.54	△17.4	95.4
5 月末	43,483	△ 9.6	314.88	△ 6.3	96.0
6 月末	46,238	△ 3.8	331.96	△ 1.2	96.3
(期 末) 2025年 7 月22日	48,219	0.3	348.20	3.6	96.8

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年7月23日～2025年7月22日)

基準価額の推移

期間の初め48,085円の基準価額は、期間末に48,219円となり、騰落率は+0.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

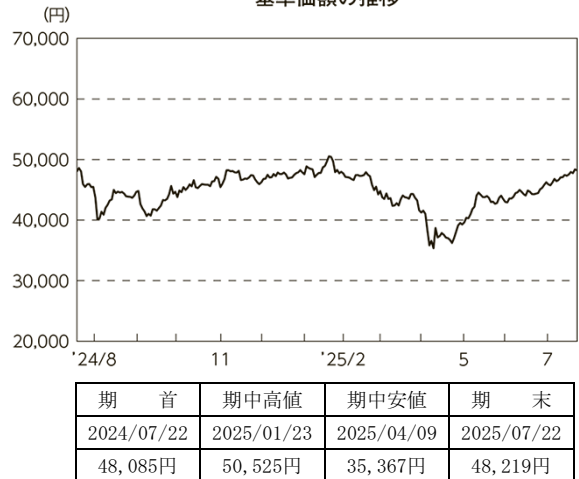
<値上がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会（F R B）が利下げに転換したことに加え、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで経済政策などへの期待が高まり、米国を中心に株式市場が全体的に上昇したこと。
- ・A I（人工知能）需要に対して楽観的な見方が広がったことや、2025年4～5月の企業決算発表において、A I関連の半導体企業やソフトウェア関連企業からの好決算の発表が続き、これを受けてハイテク関連銘柄の株価が上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・中国のスタートアップ企業による低コストの生成A Iモデル開発のニュースを受けて、A Iの分野をリードしてきた米国企業の優位性に懸念が生じ、2025年2月後半以降、半導体関連銘柄を中心に世界的に株価が下落したこと。
- ・2025年4月に入って米国トランプ政権が相互関税を打ち出したことから、投資家心理が悪化したことや、中国がこの関税政策に応酬したことなどをを受けて市場が混乱したこと。

基準価額の推移



基準価額（指数化）の推移

ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数
(税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース)（指数化）の推移

(株式市況)

期間の初めは、米国の雇用関連指標の悪化などを受け、2024年8月の初めに株式市場は一時大きく調整しましたが、その後はFRBの利下げ開始や、米国の経済指標の改善などから、上昇傾向となりました。中東情勢やロシアとウクライナとの間の戦争の先行きなどの地政学的リスクが嫌気されたものの、米国大統領選挙や議会選挙における共和党の勝利を受け、次期政権が減税や規制緩和などに積極的に取り組み、その政策も実行されていくとの見方などが強まったことで、米国を中心に株式市場は概ね堅調に推移しました。

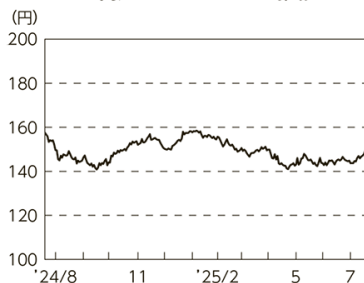
2025年の初めは、中国のスタートアップ企業による低コストの生成AIモデル開発のニュースを受けて、AI分野をリードしてきた米国企業の優位性に懸念が生じることとなり、半導体関連銘柄を中心に世界的に株価が下落しました。4月には、米国トランプ政権が相互関税政策を打ち出し、中国がこれに対抗して報復措置を表明したことで、世界的な通商摩擦激化による景気悪化懸念が高まることとなり、株式市場は下落しました。ただしその後は、米国と中国の間で追加関税の一部撤廃や大幅な引き下げが合意されたことを好感して株式市場が回復に向かうなか、米国でAI関連の半導体企業やソフトウェア関連企業から好決算の発表が続いたことで、ハイテク関連銘柄の株価が力強い回復を見せ、相場全体をけん引しました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、米中摩擦からの対中規制やAI関連投資の鈍化懸念を受けて関連銘柄の調整売りが広がった時期もありました。また米国の関税政策に対する警戒感を背景に世界的に株安となるなか、当ファンドが保有する銘柄の株価も下落を余儀なくされました。しかし、2025年4-5月の決算発表のシーズンに入り、米国の大手半導体企業の好決算が発表されると、AI関連の半導体企業やソフトウェア関連企業からも好決算の発表が続き、ロボティクス関連銘柄も大きく値を戻す結果となりました。

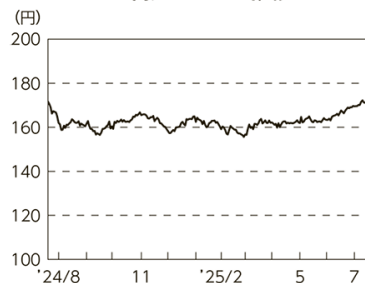
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



ポートフォリオ

ボトムアップアプローチを重視し、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業に着目した運用を行ないました。

当期間は引き続き情報技術セクター、資本財・サービスセクターなどを中心に、ロボティクス関連銘柄の中でもインフレによる価格高騰を転嫁できると判断する企業、景気がスローダウンしてもダウンサイドを抑制できると期待される企業などに投資を行ないました。

○今後の運用方針

米国を中心に、ＡＩエージェント（ユーザーが設定した目標に対し自律的に計画を立て、実行するＡＩシステム）の導入が多く分野で進んできています。このためハイパースケーラー（巨大なサーバーリソースを保有する企業の総称）によるデータセンター投資は依然として堅調であり、それを支えるインフラである半導体市場や電力供給ネットワーク市場も活況を呈しています。

今後も関税や財政悪化懸念による短期的な経済や企業収益へのある程度の影響は避けられませんが、生成ＡＩからＡＩエージェント、そしてフィジカルＡＩへと、ＡＩの技術進化はスピードが速く、また力強いものとみられます。ＡＩを活用したアプリケーション、ハードウェアの開発は引き続き加速していくと考えています。こういった開発はまだまだ初期段階にあり、景気の波を経ながらも中長期で投資は増加方向にあるとの見方は変えていません。ＡＩ関連投資はこれまでの開発中心の投資から、開発投資と、それを利用してもらうための投資がバランスよく拡大していくものと考えています。

一層のデータ活用、関税によるサプライチェーン（供給網）見直し、賃金インフレなどは自動化・自律化の追い風となるほか、製造業を自国に呼び戻す米国トランプ政権の公約も自動化を後押しする材料となると期待しています。ロボティクス関連銘柄の魅力は中長期的な視点においても非常に高いとの見方が強まるものと考えます。引き続き現在のような株価変動は好機と捉え、バリュエーション（価値評価）重視の運用を続ける方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 7 月23日～2025年 7 月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 5 (5)	% 0.011 (0.011)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.005 (0.005)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (5) (0)	0.013 (0.012) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	13	0.029	
期中の平均基準価額は、44,781円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月23日～2025年7月22日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		11,052 (644)	52,910,839 (ー)	9,951	50,580,342
外 国	アメリカ	百株 92,806 (△ 1,935)	千アメリカドル 1,286,847 (ー)	百株 64,668 (ー)	千アメリカドル 1,097,095 (58,605)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	4,595	43,470	39,067	137,266
	フランス	6,127 (ー)	45,066 (△ 716)	2,146	14,480
	オランダ	171	12,992	63	4,490
	スイス	6,598	千スイスフラン 32,001	2,420	千スイスフラン 12,001
	スウェーデン	22,104	千スウェーデンクローナ 234,461	9,338	千スウェーデンクローナ 101,092
	ノルウェー	48,705	千ノルウェークローネ 54,589	465,889	千ノルウェークローネ 260,101
	台湾	16,740	千新台幣ドル 1,561,323	19,210	千新台幣ドル 1,919,450

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年7月23日～2025年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	536,931,093千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	948,749,106千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.56

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月23日～2025年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年7月23日～2025年7月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年7月22日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
機械 (38.6%)			
オークマ	594.4	1,320.7	4,833,762
ディスコ	462.8	429.6	18,618,864
SMC	332.5	431.6	21,692,216
ハーモニック・ドライブ・システムズ	1,176.6	1,976.1	5,426,370
ダイフク	5,395.4	6,087.1	22,424,876
THK	4,082.4	4,486.2	17,388,511
電気機器 (56.7%)			
日立製作所	8,707.3	6,962.2	30,703,302
三菱電機	5,788	8,047.8	25,865,629
安川電機	2,138.053	2,412.353	7,036,833
ソニーグループ	819.5	—	—

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
横河電機	—	1,348.7	5,098,086
アドバンテスト	1,332.5	1,503.6	17,058,342
キーエンス	431.8	372.8	20,336,240
ファナック	2,294.3	2,588.8	9,884,038
村田製作所	3,381.4	—	—
東京エレクトロン	535.5	604	16,600,940
輸送用機器 (4.7%)			
デンソー	5,043.8	5,690.5	11,039,570
合 計	株 数 ・ 金 額	42,516	44,262
	銘柄数<比率>	16	15

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期末	期末		業種等
			評価額	評価額	
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AMPHENOL CORP-CL A	—	10,790	111,908	16,503,189	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
EATON CORP PLC	4,287	4,808	179,672	26,496,254	資本財
EMERSON ELECTRIC CO	—	7,478	106,869	15,760,112	資本財
MICRON TECHNOLOGY INC	11,671	14,793	167,505	24,702,027	半導体・半導体製造装置
PARKER HANNIFIN CORP	1,185	—	—	—	資本財
IQVIA HOLDINGS INC	5,535	3,903	62,054	9,151,128	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROCKWELL AUTOMATION INC	6,525	7,319	256,692	37,854,371	資本財
STRYKER CORP	3,377	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
TERADYNE INC	4,450	8,000	75,860	11,187,183	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,328	2,611	105,746	15,594,367	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ADOBE INC	1,882	2,110	77,613	11,445,619	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	4,575	—	—	—	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC	4,986	5,433	124,582	18,372,194	一般消費財・サービス流通・小売り
ANALOG DEVICES INC	5,871	4,512	108,520	16,003,581	半導体・半導体製造装置
ANSYS INC	2,567	—	—	—	ソフトウェア・サービス
APPLIED MATERIALS INC	6,034	6,768	130,368	19,225,494	半導体・半導体製造装置
ASPEN TECHNOLOGY INC	4,658	—	—	—	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	3,213	3,604	106,377	15,687,436	ソフトウェア・サービス
BROADCOM INC	—	3,212	92,600	13,655,785	半導体・半導体製造装置
CADENCE DESIGN SYS INC	—	3,677	116,340	17,156,747	ソフトウェア・サービス
COGNEX CORP	12,417	13,927	46,977	6,927,800	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALPHABET INC-CL C	9,355	6,113	116,864	17,234,067	メディア・娯楽
INTUITIVE SURGICAL INC	5,552	5,379	277,626	40,941,522	ヘルスケア機器・サービス
IPG PHOTONICS CORP	8,719	17,434	129,763	19,136,200	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MANHATTAN ASSOCIATES INC	—	3,473	69,384	10,232,177	ソフトウェア・サービス
MICROSOFT CORP	4,656	3,803	194,026	28,613,060	ソフトウェア・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	10,219	—	—	—	半導体・半導体製造装置
NVIDIA CORP	22,361	18,864	323,292	47,675,909	半導体・半導体製造装置
NXP SEMICONDUCTORS NV	3,310	2,638	60,239	8,883,558	半導体・半導体製造装置
OMNICELL INC	—	13,985	39,201	5,781,024	ヘルスケア機器・サービス
PALO ALTO NETWORKS INC	—	2,573	51,429	7,584,370	ソフトウェア・サービス
PTC INC	4,445	4,986	99,132	14,619,120	ソフトウェア・サービス
QUALCOMM INC	5,173	5,803	92,251	13,604,337	半導体・半導体製造装置
SCHRODINGER INC	9,149	10,164	23,195	3,420,654	ヘルスケア機器・サービス
SYNOPSYS INC	1,433	3,221	190,551	28,100,594	ソフトウェア・サービス
TRIMBLE INC	22,786	17,198	140,047	20,652,847	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	2,803	3,143	103,240	15,224,857	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額	195,534	221,737	3,779,938	557,427,598
銘柄数<比率>	30	31	—	<54.5%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
INFINEON TECHNOLOGIES AG	35,710	—	—	—	半導体・半導体製造装置
SIEMENS AG-REG	9,671	10,910	245,003	42,221,506	資本財
小計	株数・金額	45,382	10,910	245,003	42,221,506
銘柄数<比率>	2	1	—	<4.1%>	
(ユーロ…フランス)					
DASSAULT SYSTEMES SE	24,367	27,489	87,965	15,159,067	ソフトウェア・サービス

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フランス) SCHNEIDER ELECTRIC SE		百株 4,281	百株 5,141	千ユーロ 121,200	千円 20,886,520	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	28,649 2	32,630 2	209,166 —	36,045,588 <3.5%>	
(ユーロ…オランダ) ASML HOLDING NV		850	959	59,852	10,314,370	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	850 1	959 1	59,852 —	10,314,370 <1.0%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	74,881 5	44,500 4	514,022 —	88,581,466 <8.7%>	
(スイス) ABB LTD-REG		32,612	36,789	千スイスフラン 193,441	35,734,400	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	32,612 1	36,789 1	193,441 —	35,734,400 <3.5%>	
(スウェーデン) HEXAGON AB-B SHS		129,186	141,952	千スウェーデンクローナ 1,460,695	22,509,315	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	129,186 1	141,952 1	1,460,695 —	22,509,315 <2.2%>	
(ノルウェー) AUTOSTORE HOLDINGS LTD		417,184	—	千ノルウェークローネ —	—	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	417,184 1	— —	— —	— <—%>	
(台湾) AIRTAC INTERNATIONAL GROUP TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC		34,943 67,700	38,413 61,760	千新台幣ドル 3,322,745 7,102,400	16,648,615 35,586,575	資本財 半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	102,643 2	100,173 2	10,425,145 —	52,235,190 <5.1%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	952,042 40	545,153 39	— —	756,487,970 <73.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	990,495,552	94.1
コール・ローン等、その他	61,749,959	5.9
投資信託財産総額	1,052,245,511	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（807,020,464千円）の投資信託財産総額（1,052,245,511千円）に対する比率は76.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=147.47円、1ユーロ=172.33円、1スイスフラン=184.73円、1スウェーデンクローナ=15.41円、1新台幣ドル=5.0105円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,071,123,820,017
コール・ローン等	56,568,836,260
株式(評価額)	990,495,552,464
未収入金	23,276,398,348
未収配当金	782,950,838
未収利息	82,107
(B) 負債	47,673,673,152
未払金	18,878,308,536
未払解約金	28,795,364,616
(C) 純資産総額(A－B)	1,023,450,146,865
元本	212,250,229,668
次期繰越損益金	811,199,917,197
(D) 受益権総口数	212,250,229,668口
1万口当たり基準価額(C／D)	48,219円

(注) 当ファンドの期首元本額は207,896,636,882円、期中追加設定元本額は25,192,699,732円、期中一部解約元本額は20,839,106,946円です。

(注) 2025年7月22日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型) 112,796,289,433円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型) 93,469,349,588円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型) 3,041,946,803円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型) 2,501,458,856円
- ・グローバル・メガビース 424,127,617円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・予想分配金提示型) 14,598,568円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(予想分配金提示型) 2,458,803円

(注) 1口当たり純資産額は4.8219円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○損益の状況 (2024年7月23日～2025年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	9,799,955,256
受取配当金	9,736,828,751
受取利息	28,140,533
その他収益金	34,985,972
(B) 有価証券売買損益	△ 1,880,582,549
売買益	140,607,434,020
売買損	△142,488,016,569
(C) 保管費用等	△ 124,342,027
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,795,030,680
(E) 前期繰越損益金	791,769,971,326
(F) 追加信託差損益金	89,651,208,929
(G) 解約差損益金	△ 78,016,293,738
(H) 計(D+E+F+G)	811,199,917,197
次期繰越損益金(H)	811,199,917,197

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2024年7月23日から2025年7月22日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

- 当ファンドについて、2024年10月23日付けにて運用における参考指数の表記を「ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数」から「ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）」に変更いたしました。なお、上記変更は表記の明確化を意図したものであり、参考指数のデータ自体は従前のものから変更ございません。
 - 日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。
- ※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご注意ください。